

◆◆◆ 近森病院附属看護学校 平成27年4月開校予定(設置認可申請中) ◆◆◆

チーム医療を展開できる ジェネラルナースの育成

「近森病院附属看護学校」
設立準備事務局 副学校長 尾原 喜美子



▲実習室

▶近森病院附属看護学校設立準備事務局のみなさん。向かって左から中澤章子、公文幸子、和田廣政事務局長、尾原喜美子副学校長、竹村多加教務主任、上総満高主任、円内は当日不在の五藤綾美主任



▼図書室



■ 学校設立まで ■

平成25年12月、「近森病院附属看護学校」設立に向け看護学校設立準備委員会が発足しました。私は平成26年4月に「近森病院附属看護学校設立準備事務局」に赴任しました。赴任後、委員会の皆さまの多大なるご苦勞を知り、深謝するとともに今後の責任の重さを痛感しております。

委員会は年末年始を返上し、昼夜を問わず申請書の作成を進めました。数カ月で1,500頁以上におよぶ申請文書を完成させ、厚生労働省へ提出、申請しました。委員会のこの驚異的なエネルギーの甲斐あって、平成26年7月31日、厚生労働省より当該申請書類の受理連絡を受けたことにより、学生募集に係る広報活動が可能になりました。

次年度から新入生を受け入れ教育の開始となりますが、今後も引き続き近森会グループ皆さまのご支援、ご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

■ 設立の趣旨 ■

現代医療は、病院から在宅医療へ、

患者さんやそのご家族主体の医療へと転換が進んでおり、各種の医療専門職が協働してチーム医療を進めていく時代となっています。

このチーム医療において、看護師の役割はたいへん重要ですが、看護師不足は深刻でこのままでは人々の健康を護る十分な医療、看護の提供が危ぶまれる状況にあります。

社会医療法人近森会は、ジェネラリストとして看護実践力のある看護師育成を目的に看護学教育を開始します。優秀な看護師を社会に輩出することは、看護の質の向上に繋がるとともに高知県の地域医療への更なる貢献となります。

将来的には特定の看護専門、あるいは分野で卓越した実践能力を有する看護師が、認定看護師資格を得ることのできる教育機関となり、看護のスペシャリストへの道を拓くことを目指しています。

■ 教育課程の概要 ■

近森病院附属看護学校の教育理念に沿ったジェネラルナースの育成過程は、入学後の学習の積み重ねによって

目標の人材像に近づけるようになっていきます。

学生は患者さんやそのご家族との関わりから、病気や障がいなどで苦しむ人々を理解し、また、先輩看護師のプロの姿勢や職業人としての自覚などを見聞きすることで、看護師になる認識を高め、自ら成長する意欲を高めていきます。

3年間の体験は、看護師の倫理的感性育成や看護の個別理解を深めることとなり、エビデンスに基づいた看護実践力の獲得になります。

■ これから ■

現在、近森病院附属看護学校設立準備事務局は、来る平成27年(2015)4月の開校に向け、準備を進めています。8月23日(土)と9月27日(土)の両日行われるオープンスクールや10月の入学試験の準備に向け、緊張した毎日が続いています。

教育理念を基盤に理想の実現に大きく前進しようとしています。皆さま方の更なるご支援をよろしくお願いいたします。

おはら きみこ

A 棟完成の感慨！

医療福祉部部长

近森病院医療相談室室長 野村 真紀



旧本館で仕事をしたことのある数少ない者として、ヘリポートを見上げては、感慨を新たにしています。

昭和54年に就職した当時は、旧本館は救急病院として外来患者の間を縫って、重症患者を乗せたストレッチャーが行き交い、外来は廊下に立って順番を待っている人で溢れている状態でした。

「近森は元気な人でないとかかれん」といわしめた野戦病院のような光景が思い出されます。

「あの…その…」早く用件を言っと！と、医事や看護のベテランの方々に鍛えられながら35年、当時は上司と私の2名だったソーシャルワーカー

は、今では35名を擁する集団となりました。

平成5年には、全国的にも画期的な医療福祉部というワーカー単独の組織を承認いただき、人事も教育もまず自分達が責任を持つことができるようになりました。

近森病院医療相談室は、これからは「地域医療連携センター」の一員とし

てあらたにスタートします。

箱を飛び出した一人一人のソーシャルワーカーの質的課題に対し、医療福祉部の責任者として何をすべきかを考えながらヘリポートを見上げています。

のむら まき

お知らせ 医療従事者対象

● 第22回近森会グループ運動会

日時 9月15日(月・祝)
高知県立大学池キャンパス体育館

● 第138回地域医療講演会

「がん化学療法 AtoZ
—お作法おしえます—」
講師 神戸市立医療センター
中央市民病院腫瘍内科部長

外来化学療法センター長

がんセンター長 辻晃仁先生

日時 10月31日(金) 18:00~19:30
会場 近森病院管理棟3階会議室

● 第139回地域医療講演会

「救急医療と漢方」
講師 静仁会静内病院
院長 井齋偉矢先生
日時 11月28日(金) 19:00~20:30
会場 近森病院管理棟3階会議室

9月の歳時記

菊の花

近森病院救急医療センター

救急救命士 橋永 夏美



菊の花というとなんかイメージを思い浮かべますか。「仏花」を思い浮かべる方が多いと思いますが、最近では「マム」と呼ばれ、ギフトやウェディングにも使われています。9月9日は菊を用いて不老長寿や繁栄を願う「重陽の節句」別名「菊の節句」です。また同日は「救急の日」、M師長の誕生日とイベント盛り沢山！菊を眺めながらあなたは何を思いますか？

はしなが なつみ

絵・近森病院附属看護学校
設立準備事務局
公文幸子



今回が最終回となるため精神科医療についての私見を述べてみたいと思う。精神科医となって30年以上になる。この間、精神科医療は大きく変わった。私が研修医の頃は統合失調症の患者さんが多く、入院もほとんどが統合失調症の診断で、それも長期の入院で慢性化した患者さんが多かった。

現在では慢性化する患者さんは少なく、入院期間も短く多くの患者さんが社会の中で暮らしている。喜ばしい事だと思う。その一方で、時代が変わるにつれて人々の生活様式や物事についての価値観は多様化し、人々のつながりは希薄となって社会はますます混沌としてきている。

それに呼応するかのようにリストカットや過量服薬など自傷行為を繰り返し、言動の調和を欠き気分は常に不安定といったパーソナリティ障害や今までのうつ病とは全く違った特徴を持つ新型うつ病、コミュニケーション障害が目立つ発達障害などの患者さんが増え、精神科医療は増々難しくなっている。

社会病理に目を向けると毎年3万

人ほどの自殺者があり、会社や学校でのイジメ、子供の虐待、繰り返す残酷な事件など問題は多い。精神科医療は時代とともに変化する。それは時代を写し出す鏡と言っても過言ではないように思う。

先々月、長崎で女子高生が同級生を殺害するという事件があった。その残虐性に日本中の人々がショック

を受けた。その他にも、池田小学校の事件や秋葉原事件など残酷な事件が起こっている。その残虐さもさることながらその動機がよく理解できない事がより不気味に思えてくる。

精神科医療は今まで地味な存在で表舞台に出てくるようにことは少なかったが、時代が変わり一躍脚光をあびるようになってきた。それが良いことか悪いことは別として、精神科医療はますます重要になってくるであろうし、それに携わる人々、特に精神科医は個人個人の疾患や精神病理に目を向けるだけでなく、社会の病理についても気を配り、時に警鐘を鳴らすこともしくはなくてはならなくなるだろう。求められるものは多くなり、責任もまた重くなっていくと思われる。

私の流儀 最終回

精神科医療の重要性



総合心療センター
センター長
みょうじん かずひろ
明神 和弘

レントゲン検査の 妙は単純写真

近森病院泌尿器科

主任部長 谷村 正信



今は昔とよくいわれますが、ほんとうに内視鏡・レントゲン、すべての

研修医奨励賞 受賞報告！

初期研修医 重田 倫子



この度、「日本循環器学会中四国・四国合同地方会」で研修医奨励賞をいただきました。授賞するとは思っておらず、授賞式で名前が呼ばれたときはとても驚きました。途中で帰らなくて良かったです。

同期の研修医中村君に引き続いて受賞できたのは、近森病院の素晴らしい研修環境のおかげだと思います。コメディカルの方々による丁寧な検査やサポートの結果を基に、循環器内科の西田科長や、心臓血管外科の池淵部長をはじめとする先生方にご指導いただき、このような賞をいただくことができました。ありがとうございました。

初期研修も残りわずかとなりました。気を引き締めて精進したいと思います。これからもご指導の程よろしくお願い致します。

上げた のりこ

画像が良くなりました。CTをオーダーしても、検査終了後即座に素晴らしい画像が送られて、尿路結石の診断はほぼ 100%可能だと思っております。

腎盂腎杯から尿管走行、周囲組織の状態まで明瞭に把握が可能で、いまでは尿路造影の機会が大幅に減っております。

私の研修医時代は、週に一日レントゲン検査当番日があり、午前中に UCG（尿道膀胱造影）4 件、DIP（排泄性腎盂造影）2、3 件は最低限行っていました。

造影剤は今のようによくなく、粘調度も高く、点滴した瞬間に患者さんに嘔吐されることはしょっちゅうでした。一度目の前で過呼吸発作を起こし

た高校生には面喰らいました（国家試験解答通り、型の如く紙袋を当てました）。

当時は、点滴は医者の仕事で、朝の回診時にルート確保（これは病棟医長など上級医の仕事）、夕方の当直医の抗生剤投与（これは研修医の仕事）とレントゲン検査の際の造影剤投与のルート確保など、1、2 年目は点滴のプロでした（他科に比べ、泌尿器科医はルート取る回数は多かった）。

今でも多分、血管穿刺のセンスはありますが、何分目が悪くなり、老眼で、メガネをはずさないと穿刺できません……。

話がそれてしまいましたが、泌尿器科レントゲン検査の基本は、やっぱり DIP です。単純写真（KUB）のガス像、腎陰影、腸腰筋陰影に始まり、造影剤の排泄スピード、腎盂腎杯の変形、尿管通過の状態などなど、平面画像から読み取れる情報を患者さんに投影して診断する妙味がありました。

医療の進歩は良いことだけれど、今の検査はちょっとつまらないかな？

たにむら まさのぶ

へりポート



近 森 正 幸

平成元年に現在のリハ病院が完成したとき、浜重副院長に「近森病院本館があまりにみすばらしく狭い、なんとかしてほしい」といわれて、新館を建設した。

今回本館 A 棟屋上のへりポートも、川井主任部長から「救命救急センターならへりポートをもたないと」と強くいわれて、本院全面増改築 5 カ年計画がはじまった。旧本館には中央診療部門が集中していたので、工事になかなか踏み切れなかったが、ホテルサンルートの地を譲っていただき計画がス

タートした。

これからの高度急性期医療に耐えられるだけの、現在考えられ得る最高の設備をそなえ、さらに免震構造としたことで災害拠点病院としての役割を充分果たせる病院となった。目先の採算がとれるかどうかではなく、大きなコンセプトから小さな Consent に至るまで、多くの先生方やスタッフたちが将来を見据え知恵を出し合って、みんなの意見を集約してつくり上げてくれた。そうして本館 A 棟は、近森会にとって高度な中央診療機能が集積する未来志向の建物となった。

今回の 5 カ年計画は、自分たちが日々必死に頑張ってきたその頑張りで実現できたと思う。その象徴としてのへりポートではないか、みんながのびりたがるのも、誇りに思うのも、そんな想いがあるからだろう。

こうして 5 カ年計画で刷新されたハード、とくに本館 A 棟を使いこなせるよう頑張らなければ、これからの医療に追いついていけないし、医療人として、人間として大きく成長できる機会を与えてくれる舞台だともいえる。

理事長・ちかもり まさゆき



「障害のある人の運転教室」の講師報告

近森オールソリハビリテーション病院
作業療法科科长 仲川 健



7月5日に高知市社会福祉協議会障害者福祉センターの主催で障害のある人の運転教室が、運転免許センターで行われました。障害のため車の運転が不安な方やこれから始めようとする方を対象です。市内から一般参加者が9名で、近森会から11名の作業療法士が参加し、関心の高さが伺えます。

内容は運転に関する制度とサービスの講義、動体認知力診断、コースでの実際の運転、乗り移りや車椅子の積

み込み方など、自動車学校と県警察本部の方々と協力して行っています。参加スタッフから、右上下肢不自由な方のアクセルペダルを左に付け替えての運転や、両下肢不自由な方の手動装置型のアクセルなど、コースで体験し貴重な経験が出来たとの声が聞かれました。

土地柄自動車が必要不可欠な県であり、運転免許保有率は約65%、車の保有台数はこの10年で約55万台と1.2倍になっています。適性検査にこられる患者さんのうち全体の6割から

7割を近森会が占めているようです。作業療法科では訓練室にドライブシュミレーターを設置し、免許センターとの連携の強化として活用しています。

この教室は、年に2回開催しておりスタッフの方の参加も歓迎していますので体験したい方はご連絡ください。

ながわ けん

IDATEN サマーセミナー 日本感染症教育研究会 Infectious Diseases Association for Teaching and Education in Nippon



診療の向上のために

近森病院神経内科 佐島 和晃

▼100人を超える参加で早朝から深夜まで濃厚に



7月25日～27日にIDATENサマーセミナー（おそらく日本で最も有名な感染症セミナー）が近森病院で開催されました。高知大学呼吸器内科荒川悠先生の多大な人望で実現しました。

県内在住の多くの先生方がミーティングを重ね、また県内の研修医や学生、近森病院の管理部の皆様にご協力をいただきました。結果、講師陣か

ら「高知のホスピタリティは素晴らしい」といっていただきました。内容としては3日間、早朝から深夜までの講義と懇親会という濃厚なものでして、参加者はスタッフを入れて100人超！高知県の感染症診療、ひいては医療

全体の向上に寄与することを確信しての閉会となりました。

（荒川先生が多忙のため（というより、シャイで引き受けてもらえないので）、先生の思いを想像し、佐島が代筆しました）

さじま かずあき

2014年7月の診療数 システム管理室

近森会グループ

外来患者数	18,388人
新入院患者数	832人
退院患者数	790人

近森病院（急性期）

平均在院日数	15.12日
地域医療支援病院紹介率	67.49%
地域医療支援病院逆紹介率	156.71%
救急車搬入件数	519件
うち入院件数	232件
手術件数	411件
うち手術室実施	272件
→うち全身麻酔件数	158件

●平成26年7月 県外出張件数 件数74件延べ人数193人

お弁当拝見 25 世界一おいしい弁当



近森病院リハビリテーション部
言語療法科主任 井上 浩明

私の弁当は、玄米と野菜のみです。主食は、玄米にきび・あわ・ひえ・はと麦・丸麦・黒米をブレンド。副食は、無農薬の野菜に添加物なしの調味料で料理した内容です。肉・油類、冷凍類はなし。これらは全て、わが娘のためです。

娘は、アレルギーがあり食べれない食材が多いです。だったら、家族みんな娘と同じ食材を食べようや、とい

うことで私はもちろん妻、同居している義父・義母も同じ食事をしています。

義父は数少ない自然食品店で食材・調味料を調達してきてくれ（時には県外にも！）、妻と義母は限られた食材で飽きないようにいろんなレシピを考え作ってくれ、私は毎日玄米と穀類を選別して雑穀を混ぜて洗い・・・と家族



みんなで娘のために、わいわいやつてます。

世界一かわいい娘のため、家族の愛情いっぱい食材をつめたこの弁当。誰が何と言おうと、世界一おいしい弁当なのです。いのうえ こうめい

第 137 回地域医療講演会



「日米の MRSA 治療の誤り & 適正治療と感染管理」について

感染対策委員会委員長
近森病院副院長 北村 龍彦

▶大阪大学大学院招聘教授
浅利誠志先生



今回は「日米の MRSA 治療の誤り & 適性治療と感染管理」をテーマに、院内 150 名院外 22 名の参加者を集め、大阪大学大学院招聘教授の浅利誠志先生をお招きし、地域医療講演会を開催しました。

先生は微生物学の分野はもちろん抗菌薬にも精通され、感染制御の分野では第一人者であります。

講演内容は前半が MRSA をはじめ耐性菌の基本的な知識と感染管理体制や医療者の基本をお示いただき、後半は医師向けの内容として MRSA 感染症の治療、とくに抗菌薬の組織移行性を考慮して適切な薬剤の投与方法をご教授いただき、参加者の裨益する事大であったと考えます。

内容がとても重要でかつ濃厚であり、再度先生の著書「実践から学ぶ！

治せる MRSA 感染症」（売り切れとの事ですが図書室にあります）を読み返

し、実践に活かして行きたいと痛感した講演会でした。 きたむら たつひこ



第 1 回 PS アワードのお知らせ

今回も引き続き、「PS アワード」についてお知らせしたいと思います。挨拶や対応の良い職員さんを表彰したい！そして挨拶や対応の良い職員さんがどんどん増えてほしい！という思いから「PS アワード」を企画しました。対象は「近森会グループで働く全職員」です。見事「PS アワード」に選ばれた方には賞状と副賞が贈られます。近森会がピカピカの A 棟が完成しました。生まれ変わったハード面にふさわしい品格を。患者さんにも職員にも居心地の良い病院をみんなで作っていきましょう！投票はサイボウズでおこなうことができます。掲示板に 9 月 1 日～30 日の期間、詳細と投票方法などをアップしていますので確認してくださいね。 PS サポーター

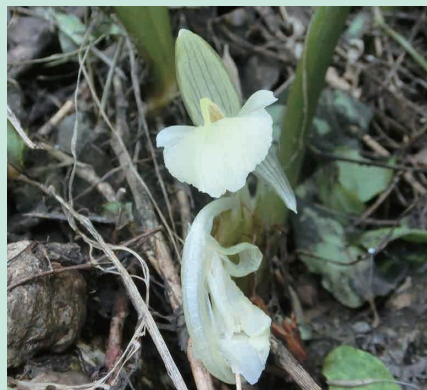


和田事務長の あたたかい卵を

近森病院総合心療センター
事務長 和田 廣政

子供のころ、朝起きると庭の鶏小屋に卵を取りに行き、生みたてのあたたかい卵を朝食の卵かけご飯にして食べるのが定番でした。

気がつくと自宅でニワトリを飼っている



▲スーパーでは見られないみょうがの白い花

田舎から

その 6



▲急斜面なのでみょうがの収穫もたいへん

家は周辺でもほとんど見かけなくなりました。スーパーで安く手に入り、飼育の手間もかからないので当然ですが、いまでは贅沢な一品です。

少しずつ秋の気配がしてきて、裏山のみょうがも白い可憐な花を咲かせています。スーパーでは花の部分は取れていて見ることはありませんが、この花を目印にみょうがの茎の中から収穫します。

きざんで朝食の味噌汁に生のまま乗せるとみょうが独特の苦みと香りが楽しめます。もちろん、卵かけご飯と一緒にいただくとも最高です。 わだ ひろまさ



▲▼こどもの頃から鶏を飼っている。いまも生みたてのあたたかい卵をご飯にかけて



本館 A 棟内覧会開催

平成 26 年 8 月 9 日 13:00 ~ 16:00

◀新しい本館 A 棟。外来センターへの通路側からの外観



◀うちわと絆創膏が内覧会のおみやげに



看護部 キラリと光る看護 part2

新米 WOCN 安松です!!

近森病院 8A 病棟
皮膚・排泄ケア認定看護師 安松 和美

日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、近森病院初の皮膚・排泄ケア認定看護師になりました。皮膚・排泄ケア認定看護師とは、創傷 (Wound)・オストミー (Ostomy)・失禁 (Continence) の三つの分野に関わり、その頭文字を取って『WOCN』と呼ばれています。創傷分野では急性創傷から慢性創傷など傷に関するケアを行います。オストミー分野では消化器・尿路ストーマのケアを、失禁分野では尿・便失禁に対するケアを行います。三つの分野はとても幅広く奥も深く、

それぞれ異なっているようで実は密接に繋がっていたりもします。

認定看護師になるために京都橘大学看護教育研修センターに7カ月間通いました。勉強嫌いな私にはとても厳しく辛いこともありましたが、初の県外生活で、高知が恋しく何度もホームシックになりました。しかし研修中に得た知識や志を同じくする仲間との出会いは自分自身の財産になっています。

これからは、研修中に得た知識や技術を患者や看護職者に伝え、近森病院の皮膚・排泄ケアのレベルが向上する



ように WOCN としての役割を果たしていきたいと思います。

褥瘡回診を充実させること、ストーマ外来を開設することなど WOCN としてやりたいことは沢山ですが、焦らず一つずつ、一步一步成長していけたらと思います。自分で歩むと決めた WOCN という道! 中途半端にならないように初心を忘れず日々研鑽と思っています。新米 WOCN 安松をよろしくお願いします。 やすまつ かずみ

ワッペン、バッジ、広報誌あれこれ 7 I.C.T.Weekly News

近森病院 ICT
シニア看護師長 近森 幹子

▶前列左端筆者

I.C.T.WeeklyNews は、感染情報レポートとして、近森病院の薬剤耐性菌検出数や指定抗菌投与状況、ICT ラウンド報告、保育室の情報、国内、県内の感染症情報や感染対策のポイント、感染対策についてのご質問などを入れ作成しています。

第1号を2006年12月28日に発行し8月6日現在第376号となります。全職員で感染対策に関する情報共有ができるようにサイボウズメールで配信しています。職員のみなさんに興味深く読んで頂き、感染対策の実践に繋がる記事にしていきたいと思っています。



記事に掲載してほしい身近な感染対策の疑問や情報なども是非お寄せください。よろしくお願いします。

ちかもり みきこ



■ 近森会グループ第30回クリニカルパス大会報告 ■



近森病院内科科長 市川 博源

最適な医療を行うための手法

医師の立場から発表させていただきました。

済生会熊本病院、倉敷中央病院の内視鏡的大腸ポリープ切除術のクリニカルパスと当院のものとを比較検討しました。個々の細かい内容にはここでは触れませんが、医学的には同じ治療でも各医療施設により、入院から退院までの流れは異なることを学びました。

恥ずかしながらパス大会には近森病院に就職してから初めての参加で、クリニカルパスとは患者さんに最適な医療を行うための手法なのだということを改めて再確認しました。

今後は、今回の大会で分析された内



容を取り入れ、現在の内視鏡的大腸ポリープ切除術のパスの内容の改定、各職種へのクリニカルパスの浸透をすすめて行きたいと考えています。

最後に長年、クリニカルパスの委員長を務めていただいた高橋潔先生に、この場をかりましてお礼を申し上げたいと思います。そして新委員長の西井先生にはエールを送りたいと思います。

いちかわ ひろもと

ハスル研修医
ど ぼ じ ゅ う が
鷲馬 十 駕

初期研修医 川口 樹里

高知大学とのたすぎがけプログラムで、今年4月から近森病院で研修させていただいています。高知小津高校、高知大学出身です。“小津”と言うと大抵の場合、珍しいね!!と言われるので言っておくと少しは皆さんの印象に残るでしょうか。

大学にはなかったスピード感に圧倒されながらも、みなさんに助けをいただきながら日々楽しく研修させてもらっています。医療スタッフの皆さんはもちろん、病院スタッフの方々、患者さんとその御家族の方々には貴重な研修環境を与えていただき感謝しています。

昨日よりも今日のほうが、今日よりも明日のほうがほんの少しでも成長した自分でいられるように……、そう思いながら毎日研修しています。すぐ負けず嫌いです。怒られたり指摘されればされるほど“くっそー!!このやるー!!精神が芽生えます(笑)泣きそうな目をしている時は気づかないふりをしていただければと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。かわぐち じゅり

鷲馬十駕とは ● 才能が乏しい者も、努力すれば才能ある者と肩を並べることができる

近森会
保育室 そろと

足長おじさんから絵本を41冊いただきました。こどもたちも大喜びです!



ワイン講座 ● 23

ぶどう品種を知り、個性を探る
白ぶどう その⑥

シュナン・ブラン

フランスの中心部を西流するロワール川流域で盛んに栽培されている伝統的な品種で、アロマティックな香りが魅力的です。その他、アメリカのカリフォルニアや南アフリカではもっとも重要な品種として栽培されています。

ロワール川の中流域のトゥーレーヌ地区では、「ル・ジャルダン・ド・フランス(フランスの庭園)」と呼ばれるほど恵まれた気候と豊かな土壌で、偉大なワインを生みだしています。

個性的な品種で、スパークリング、辛口から極甘口、貴腐ワインと様々なスタイルのワインが存在します。

生産者や、ワインのスタイルにもよりますが、甘口で、最良なものは、優美でふく

サヴニエール・レ・ヴュー・クロ／ニコラ・ジョリー／フランス、ロワール地方 ● 自然農法の伝道師と言われる生産者によるもの。やんわりとした滋味あふれる味わい。白ワインですが飲む前にデキャンティングすることをお勧めします。

よか、そして活き活きとした酸味、余韻のある味わいになります。

熟成と共に、酸味と果実味が調和の取れた味わいに変化し、何十年も熟成に耐えるものもあります。

ご結婚や、子供が生まれた記念年など、そっと冷蔵庫に忍ばしておくのもいいかもしれません。

鬼田知明(有限会社鬼田酒店代表)



乞！熱烈応援

全体のことを考えて



近森病院整形外科
部長 西井 幸信

8月1日付けで整形外科部長を拝命致しました。これまでは整形外科医としてよりよい医療を提供したいと考えて自らのスキルアップし、若い先生たちへの指導、科内の調整等を行ってきました。

これからは科内のみならず、クリニカルパスをはじめ、これまで以上に多部署との連携を深めながら病院全体のことを考えて部長の一人として院内のマネジメントについても頑張っていきます。よろしくお願い致します。

にしい ゆきのぶ

新しい病棟で



近森病院 HCU
主任 秋山 有乃

久しぶりの急性期病棟で、周りの方に迷惑をかけてしまうのではないかと不安が大きいです。しかし、新HCUは今後の病院にとって重要な位置になるのではないかと考えているので、とにかくみんなに迷惑をかけないようにして、何ができるかはわかりませんが、新しい病棟でスタッフみんなが働きやすい環境を目指して、頑張っていきたいと思います。年はいってますが、未熟なところがたくさんあるので暖かい目で見ていろいろと教えて下さい。

あきやま うの

不安はありますが

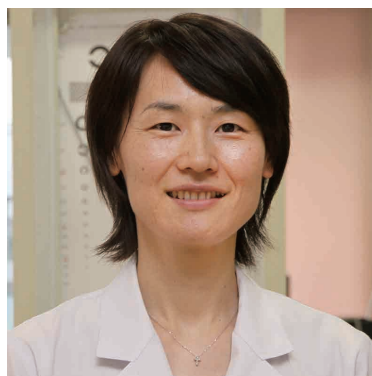


近森病院 HCU
主任 堀川 史江

「今のままの自分でいいんだよ」といってくれた師長の言葉に、成長できるきっかけになればと、決意したもののドキドキ状態です。患者さんやご家族の近くにいて、気持ちに添える看護をみんなで作っていきたくて考えています。協力し合うことで患者さんへの看護、ケアも充実できると考えています。現場ではホッとできるような存在でありたい。ご迷惑をおかけすると思いますが、皆さんの力をお借りしながら、頑張っていきます。宜しくお願いいたします。

ほりかわ ふみえ

支えられるように



総務部総務課健康管理センター
主任 村上 麻世（臨床検査技師）

就職して17年になります。「とりまとめ役をお願いしたい」と課長からお話をいただきました。「私は何をしなければならないのか」その責任の重みに緊張と不安な気持ちがありました。自分なりにできることから少しずつ始めてみようと思えるようになりました。各自が専門性を最大限発揮でき、そして同じ方向を向いて進んで行けるよう努めたいと思っています。職員の皆さんを心身共にサポートできるようスタッフ全員で頑張ります！

むらかみ あさよ

縁の下の力持ちを目指して



薬剤部テクニカルスタッフ
主任 山崎 亜里紗

この度、薬剤業務補助員から薬剤部テクニカルスタッフへ名称が変更されました。さらに主任の辞令をいただき、自分に務まるかという不安もありますが、薬剤部にとって必要な職種であることを再認識でき、やりがいを感じています。今後は業務拡大について可能性を探り、薬剤師と協力して業務が円滑にまわるようサポートしていきたいと思っています。縁の下の力持ちとなれるよう力を合わせて頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。

やまさき ありさ

図書室便り (2014年7月受入分)

- Instructional course lectures Vol.63 2014 / Robert A. Hart (editor)
 - 乳房超音波診断ガイドライン改訂第3版 / 日本乳腺甲状腺超音波医学会 (編)
 - 二級・緊急臨床検査士資格認定試験学科筆記試験【問題と解答】コピー平成21年(2009年)～平成24年(2012年) / 日本臨床検査同学院 (編)
 - 生活保護手帳 2013年度版
 - 社会保障の手引：施策の概要と基礎資料 平成26年版
 - 診療報酬・完全攻略マニュアル：ビジュアル速解 2014-15年版 / 青山美智子
 - 保険審査Q&A：医療機関が知らなかった50の常識 2014-15年版 / 橋本巖
 - 医療材料マネジメントで病院を変える / 医療材料マネジメント研究会 (編)
- 《別冊・増刊号》
- 別冊 医学のあゆみ 細胞死 Update：基礎から臨床までを俯瞰して / 米原伸 (編)
 - 日本医師会雑誌 143 巻特別号 (1) 生涯教育シリーズ 86 痛みのマネジメント update 基礎知識から緩和ケアまで / 小川節郎 (他編)
 - 別冊 NHK きょうの健康 糖尿病 あなたに合った治療 / 門脇孝 (総監)
- 《視聴覚資料》
- Audio-Visual Journal of JUA Vol.20 No.3 / 日本泌尿器科学会 (企・監)



判断の基準となる「やり甲斐」

人は仕事でどんな風に「やり甲斐」を感じるのだろう。生涯の仕事として何を選び、何学部へ進むかを漠然と考えた高校時代、林部長が基準としたのは「やり甲斐」だった。サラリーマンとして忙しく働く父親の姿勢に仕事へのやり甲斐を感じつつ、「自分は自分のやったことが、そのまま自分に跳ね返る仕事にこそ、やり甲斐を見つけられそうに思えた」という。そこに医者の仕事が浮かんた。

さらに、林部長にとって「自分の努力や、やったことがそのまま現われる科」が脳神経外科であり、科を決める際にも、やはりその「やり甲斐」を基準とした。

親から進路をあれこれ言われた記憶はないし、なにごととあえず自分で決めて、自分で結果に責任を負うのが、林家の子育ての方針だったと、親になったいま、思い返しているという。

木の一本一本を見る役割を意識

近森病院で働き始めて12年半、ずっと高橋部長の元でやってきた。医療の標準化を目指したクリニカルパスに関わる機会も多かった高橋部長は、いわば「森全体を見て」判断した。

そこで自分に求められる役割は、敢えて木の一本一本を観察することだと、意識してきた林部長。林部長にはそんな抜かりない緻密さや観察力があるからこそ、周りのスタッフは安心して頼ってこれたのだろう。

高橋部長と一緒に方向を向いて長くやれたことで、高橋部長の大局判断の決め手のひとつ一つを、いちばん近くで見ることができた。その近さがまた、いまの林部長の自信にも繋がっているようである。さらに、科のまとめ役としての「役割が増えることへのやり甲

森も見るし、
木もまた抜かりなく……

斐 | に手応えを感じてもいる。

患者さんから貰えるトビきりの元気

重症で担ぎこまれた患者さんが、元気に帰られる姿には、トジきりの元気を貰えるが、どの結果も全ていいというわけにはいかない。

それでも、弱い気持ちになったとき、「あんなに良くなった人もいる！と患者さんの顔を思いだすと、確かに力が湧く！」という。控えめな林部長に、そんな「元気の素」を力説されると、「患者さんが元気になるという妙薬の威力」がリアルに想像できそうだ。

努力が報われることへのやり甲斐

大学時代、巷で人気の出始めたサッカーを一所懸命やった。体力的にそれほど恵まれていたとはいえなかったが、コツコツ練習を続けることで試合にも出られるようになり、医学部のサッカー全国大会へもディフェンスで出場した。

努力すればするだけのものが返ってくる喜びを学生時代に実感したわけだが、医者の仕事にもまさに繋がる場所がある。努力が報われることにやり甲斐を見だし、常にやり甲斐に繋がるよう仕事に取り組むのが、気まじめで、一所懸命な部長の日常ともいえる。

努力が報われる喜びを常に味わえなくても、その過程がやり甲斐に繋がることも感じているし、これはどうやら子育てにも通じる発想らしい。夜中の呼び出しに備える当番が、数日に一度まわってくるし、夕食の途中で呼び出されることもある。が、当然、仕事優先であるべきだと信じているし、元同僚の妻の理解が支えとなっている。

息子との夜行列車のロマン

年に一度か二度、電車の大好きな長男と二人、夜行列車の旅に出る。数年前、小学校にあがった時から始めた。普段ゆっくりできないことへの罪滅ぼしのような思いもありそうだが、折に触れてその旅行を話題にする息子との関係はまんざらでもなさそうだ。

趣味といえば、自転車で中村まで丸一日かけて行ったこともある。あちこち出向くと土地勘が湧き、患者さんの住所と繋がり、その生活の土壌を想像することもできると嬉しそうだ。

また違ったカラーで頑張ります！

脳神経外科という科の特徴でもある多くの他科とのチーム医療によって患者さんを元気に出来る。脳神経外科のトップとなった今、「これまでとはまた違ったカラーが出せるチャンスに繋がる」と、力を籠める。こんな風に林部長は新しい環境の新しいチーム医療に、さらなるやり甲斐を感じている。



小学生の長男と親子二人の寝台列車の旅の途中に

職員対象

第36回

チカモリ・シネマクラブ

ニューフェイス

①所属 ②出身地 ③最終出身校 ④家族や趣味のこと、自己アピールなど



今村 春一

いまむら しゅんいち ①
循環器内科医師②鹿児島県
③高知大学医学部④高知県
立幡多けんみん病院から異
動してきました。地域医療
の経験を生かして、患者さ
んの立場に立った診療をし
ていきたいと思います。気
軽に声を掛けて下さい。

編集室通信

15年ぶりの「踊らない夏」だったが、某チームに少し飛び入り参加。芸術家のチームで、振り付けもない、衣装もない、隊列もない…こんな自由なよさこいもあるのかと目から鱗だった。即興ダンスで挑んだ追手筋パレードではちゃっかり花メダルもいただき、いつの間にか思いっきり楽しんでいる自分がいた。また一つ、よさこいの魅力発見の夏となった。(リンダ)

第61回 よさこい祭り参加のご報告

ロジスティックメンバー、前列左から2人目が筆者

数少ない職員チームとして

よさこい実行委員会代表
診療支援部長補佐兼企画課長 山崎 啓嗣

よさこいチーム『ちかもり』は、縦横夢人をテーマに今年も高知の城下を元気よく演舞してきました。

この第61回は、ちかもりにとって結成5年の節目であり、「受賞を目指す」という目標を掲げ、踊り子さん、スタッフがー丸となって本祭までの2カ月間、夜遅くまで本当に一所懸命練習に励んできました。結果的に受賞のご報告とはなりませんが、

ちかもりらしい力強さ、その奥にある優しさ、華麗さを感じていただけの表現ができたのではないかと思います。

何よりも、今年は台風の直撃で本祭の開催自体が危ぶまれる中、2日間無事に演舞することができたことが奇跡的で、少し違った形での記憶としても皆さんの胸に刻まれたものと思います。

高知のよさこい祭りでは、数少

ない職員チーム（一般公募の無いチーム）として、その良さを大切にしながら次の目標に向かって、またスタートすることと思います。

競演場、演舞場でご声援いただいたみなさん、本当にありがとうございました。

やまさき ひろつぐ



私の趣味

ドライブ&旅行

近森リハビリテーション病院
4階東病棟主任 武田 真弥

小さい頃から、車で色々なところに連れて行ってもらったこともあり、今でも県内外を車で出掛けることが好きです。目的地以外にも、道の駅などに立ち寄り地域の名産

品を買うことも楽しみの一つです。最近では、車でのお出掛け以外にも、上の子が電車などの乗り物に興味があり路面電車やごめんなはり線、バスなどに乗る機会も増えました。改めて乗る

と、いつもの景色が違う角度から見ることもでき、またなはり線のオープンデッキや路面電車では内装にかっぱのぬいぐるみなどでディスプレイされた面白い車両もあり、子供と一緒に楽しめます。次は、新幹線を狙っているようです。

旅行に行くことも好きで、夏は沖縄の海や冬は蔵王の樹氷などとても印象に残っていて、いつかは子供を連れてまた行きたいと思っています。2人目が生まれ、2～3年は行くことが出来なかったですが、現在秋冬の家族旅行を計画中です。 たけだ まみ



職員の
子供限定

第3回病院体験ツアーを開催して

「病院体験ツアー」は「次世代の医療を担う人材になってもらいたい」という願いがきっかけで始まりました。毎回大好評で、募集人数を上回る参加希望をいただいています。

各部署が趣向を凝らして、参加者が楽しめる企画を出してくれました。模型を用いて心臓カテーテル検査や腹腔鏡手術などを行うハンズオンが今回も大好評のようでした。

今年はA棟完成直前ということで、ハイブリット手術室、ヘリポートの見学も出来て、貴重な体験になったと思います。これからも年2回開催を基本に行っていきたいと思っていますので、たくさんの方々の参加をお待ちしています。 ちかもり まさやす



近森病院消化器内科科長
近森 正康



▲脳神経外科で、手術視野を疑似体験！

▼看護部で模擬人形による
「バイタルチェック！」

▼循環器内科で心臓カテーテル。つい、みんな真剣に



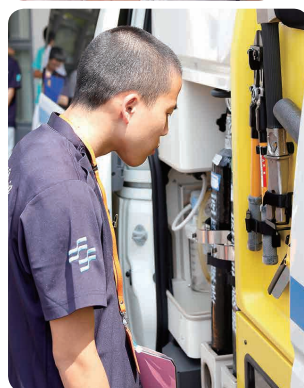
▶整形外科で骨をつなごう！



▲臨床工学部で血中酸素、心電図測定



▼骨格筋、視力、聴力を制限した高齢者体験も



▼作業療法科で高次脳機能障害のチェックテスト「あれ～難しいよ～」▼工事中のA棟へスタッフより早く潜入！



◀ドクターカーの装備「実に面白い！」

